

令和7年度第1回鴨川市消防委員会 会議録

日時：令和8年2月18日(水)
午後1時30分～午後2時05分
場所：鴨川市文化財センター学習室

[出席委員]

(敬称略)

氏名	備考
東島 康二	委員長
田代 朗	副委員長
入野 芳一	
吉田 裕迪	
栗原 孝明	
佐藤 則泰	
根本 弘	議事録署名人

[市行政関係者]

所属・職	氏名
鴨川市長	佐々木 久之
鴨川市企画総務部 部長	野村 敏弘
鴨川市企画総務部危機管理課 課長	川名 啓史
危機管理課 課長補佐	在間 啓一郎
危機管理課 消防生活安全係 係長	嶋津 直人
危機管理課 消防生活安全係 主事	飯塚 大斗

[傍聴者] なし

[会議資料]

○事前配布

次第

出席者名簿

席次表

資料 1：令和7年度鴨川市消防団事業実施状況

参考資料：令和7年 火災発生状況

資料 2：令和7年度鴨川市消防団事業計画（案）

資料 3：令和7年度鴨川市消防関係予算（案）

1 開会（午後 1 時 30 分）

（進行：危機管理課課長補佐）

会議は公開とする旨を説明。

配布資料の確認後、鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 2 項の規定により、本会議が成立する旨を説明。

2 消防委員会委員及び事務局の紹介

今年度初の会議であるため、消防委員会委員、市執行部及び事務局の紹介を行った。

3 市長あいさつ（要旨）

消防団員は、「自らの地域は自ら守る」という郷土愛護の精神により、市民の生命と財産を守るため、日頃の消火活動をはじめ、大規模災害時の救助活動などに、地域防災の要として重要な役割を果たしている。

記録的な少雨となった令和 7 年においては、冬から春にかけて大規模な林野火災が、全国各地で発生した。

本年に入っても、山梨県で 約 396 ヘクタールにも及ぶ林野火災が発生し、地元消防本部や消防団、自衛隊ヘリ等により、地上・上空から懸命な消火活動が実施され、火災の恐ろしさとともに消防団の重要性を再認識したところである。

昨今の少子高齢化や就業構造の変化等により、全国的に消防団員の減少が続いており、本市としても、組織の活性化を図るため、消防団本部と連携し、団員が活動しやすい環境整備に努めるとともに、組織の今後のあり方を引き続き検討していく。

本日の議件は、「令和 8 年度・消防団事業計画（案）」など、計 3 件である。

この後、事務局から詳細を説明させるので、忌憚のないご意見を願います。

4 議事

鴨川市附属機関設置条例第 4 条第 1 項の規定により、委員長及び副委員長を委員の互選により選出。

委員の了承を得て市長が座長となり委員長を選出。

吉田裕迪委員から東島康二委員を委員長に推薦する声あり。

出席委員の承認を得て、東島康二委員を委員長に決定。

委員長決定後、鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 1 項の規定により、東島康二委員長が議長となる。

議長から副委員長の選出については、委員長の指名とすることを出席委員に確認。了承を得て、田代 朗委員を副委員長に選出。

また、本日の議事録の署名人に、根本弘委員を指名。

(1) 議件1 令和7年度鴨川市消防団事業実施状況について

(議長)

議件1について、事務局から説明を求める。

(消防生活安全係係長)

資料1により、主な事業実施状況について説明する。

4月1日、本部会議及び本部分団長会議を開催した。本会議において、海老谷団長から分団長等対し、辞令交付を行い、令和7年度の事業計画等について確認した。

5月18日、陸上競技場駐車場において、幹部・新入団員訓練及び消防車両・可搬ポンプの年次点検を実施した。

幹部・新入団員訓練は、鴨川消防署職員を講師に迎えて実施。幹部訓練に参加した団員は、消防団幹部としての指導的立場を自覚するとともに、消防団の運営に必要な規律を習得するため、礼式、規律各個訓練に取り組んだ。

新入団員訓練では、ホース展張などの基本動作を中心に訓練を行うと共に、消防団員として身に付けるべき規律を習得した。

6月、第44回公益財団法人千葉県消防協会安房支部消防操法大会は中止となった。

10月17日、本部・分団長会議を開催し、後期の事業計画の確認、夜警の見直し等について協議を行った。19日に普通救命講習を予定していたが、講師派遣の都合から中止とした。24日に安房支部第2回総会が開催され、海老谷団長が出席した。また、同日に上級幹部研修が行われ、消防団本部から団長を含め6名が出席している。

26日に千葉県及び公益財団法人千葉県消防協会による「消防団員対応力強化研修会」が開催され、消防団本部から1名参加している。本訓練は、消防団のさらなる災害対応力強化のため、実災害での活動経験や訓練の機会が少ない消防団員の技術力の維持・向上に向けて研修が行われたものである。

11月1日に「秋の全国火災予防運動」(防火パレード)を行った。本パレードは、鴨川消防署の車両を含む26台の車両により、パレードを行った。

また、同日に市主催による防災訓練、防災体験会を江見小学校において開催し、傷病者搬送訓練、消防団車両の乗車体験、水消火器による消火体験に第2支団の団員の方々に従事していただいた。

消防団車両の体験では、児童が嬉しそうに運転席に座る姿や防火衣に袖を通すなどの姿があり、将来の地域防災の担い手である子どもたちに、鴨川市消防団の存在と活動内容を知っていただく機会となった。

12月20日に鴨川市役所において、夜警出動式を実施した。夜警については、これまで、12月から2月まで、消防団による夜警活動を行っていたが、団員の減少や就業形態の変化を考慮し、夜警期間の見直しを行い、本年度から歳末夜警として、令和7年12月20日から令和7年12月30日まで行っている。

年が明け1月10日には、鴨川市文化体育館において、鴨川市消防出初式を挙行了。

今月13日には、公益財団法人千葉県消防協会安房支部第3回が開催され、海老谷団長が出席している。

今後の予定として、3月17日に千葉県消防大会が青葉の森芸術文化ホールにて、開催される予定となっている。

以上が令和7年度 鴨川市消防団事業の実施状況となる。

(根本委員)

11月1日に鴨川市防災訓練・防災体験会ということで会場が地元だったので久しぶりに訓練を見せていただいた。

その中で市の幹部、各課の課長、課長補佐にあたる方だと思うが、訓練に参加していたが、これは近年このようなスタイルとしたのか。

(消防生活安全係係長)

ここ数年、市の幹部が出席している状況となっている。

(根本委員)

大変良いことだと思う。その中で市の各課の方に訓練が終了してから、何か意見等は集めているのか。

(危機管理課長)

特に意見を求めることは行っていない。

(根本委員)

休日に各課の色々な部署の幹部の方が出て来ているので、訓練にあたって色々な目線があると思う。その方々の意見を取り入れて今後の訓練をより良いものにしていったら良いと思う。

災害が起きたら各課の幹部の方は、災害対策本部の中で活躍される方だと思うので、意見を収集し、次の訓練に役立てていけば、大変良いものになると思う。

(危機管理課長)

貴重な意見を頂き感謝申し上げます。

(議長)

委員からの質疑意見等の有無を諮るに、質疑意見等無し。

議件1について、原案どおりの承認とするか諮るに、異議無し。

議件1は、原案どおり承認する。

(2) 議件2 令和8年度鴨川市消防団事業計画(案)について

(3) 議件3 令和8年度鴨川市消防関係予算(案)について

(議長)

議件2及び議件3について、関連するため事務局から一括で説明を求める。

(危機管理課課長)

資料2により、主な事業について説明する。

4月1日、本部会議、本部分団長会議を開催し、令和8年度の事業計画について説明する予定である。

続いて、5月17日、幹部・新入団訓練、消防車両及び可搬ポンプ年次点検を実施する。

6月14日は、公益財団法人千葉県消防協会安房支部操法大会が千葉県安房合同庁舎を

会場に実施することが先日、2月13日に開催された第3回千葉県消防協会安房支部総会において決定した。

消防団員の負担の軽減の観点から、本市の操法大会を廃止したが、操法大会に向けた訓練は、消火活動の基礎を身につける為に重要なものであるため、団員の負担にならないよう、鴨川消防署と連携しながら大会に向けた訓練を実施していく。なお、出場予定は第2支団となる。

7月25日、第31回全国消防操法大会千葉県代表選考会が千葉県消防学校で開催される。

10月下旬に普通救命講習を計画しており、11月上旬に、秋の全国火災予防運動に伴う防火パレード、防災訓練・防災体験会を実施する計画となっている。

12月20日には夜警出動式を実施し、年末まで夜警を行う。令和9年1月9日（土）に鴨川市消防出初式を行う。

本年の出初式は、団員の就業形態の変化への対応や活動しやすい環境づくりのため、これまでの6日から変更して10日（土）に実施させていただいた。来年の出初式も同じ観点から、土曜日に実施させていただく。

2月には本部会議、消防委員会、安房支部総会が、3月には千葉県消防大会が予定されている。主な事業は以上となります。

続いて、資料3により主な予算について説明する。常備消防費8億4,406万2千円、こちらは安房消防への負担金となる。本年度と比較し、4,575万3千円の増額となっている。主な増額要因は、安房郡市消防本部・館山消防署緊急車両車庫オーバースライダー修繕工事、鋸南分署の女性仮眠室等改修工事、白浜分署配備の高規格救急自動車の更新、鴨川消防署配備のはしご車オーバーホール、消防救急デジタル無線装置43台の更新等となる。

次に、非常備消防費であるが、消防総務事務費が40万7千円、県消防協会や安房支部への負担金となる。

公用車費は、596万7千円で、消防車両にかかる修繕料や燃料代、車検代、保険料等となり、本年度と比較し、59万7千円の増額となっている。

消防団運営事業は、4,963万5千円で、団員の報酬や手当、本部や支団への交付金、安房支部操法大会運営交付金等である。本年度と比較し、88万9千円の減となっているが、本部及び支団運営交付金の10%削減、消耗品費の縮減が要因となっている。

消防施設費は、消防施設整備事業として、858万2千円で詰所の修繕、消火栓の整備等に関するものとなる。前年と比較し、278万1千円の減額となっているが、主な理由として、消火栓施設負担金の減額によるものである。

災害対策費は、防災教育・訓練事業が8万4千円で、防災訓練にかかる消耗品等となる。災害対策事業が944万7千円。主に孤立集落対策緊急補助金、備品購入費などとなる。また、会計年度任用職員1名の雇用関係予算を計上しており、本年度と比較して、99万3千円の増額となっている。

防災情報伝達事業が2,874万円、防災行政無線に係る施設の更新工事や無線局の保守

委託料、安心安全メールの配信に係る費用、また防災マップ WEB サイト保守更新委託料等となる。昨年度と比較し 1,279 万 9 千円の増額となる。

自主防災組織育成事業あについては、自主防災組織に対する補助金が、当初予算には計上されず、肉付け予算要求となったことから、120 万円の増額となった。

国民保護事業は委員への報酬等で 2 万 2 千円。災害対策本部等事務費は防災減災費用の保険料や台風などの風水害等で対策本部を設置した際の市職員の手当となる。

消防費全体での合計は、9 億 5,387 万 1 千円。令和 7 年度と比較して 5,872 万円の増となっている。以上が説明となる。

(吉田委員)

久しぶりに(安房支部)操法大会を行うとのことであるが、本市の操法大会はどのようなになるのか。

(危機管理課長)

市の操法大会を実施して安房支部大会に出場するチームを決定するのではなく、持ち回りで。

(吉田委員)

先ほど 2 支団という説明があったが。

(危機管理課長)

どこか一つの車両になるのか、メンバーを選抜して行うかは支団に任せている。

市の大会は実施しないが、持ち回りで参加するかたちとなっている。

(吉田委員)

操法は、鴨川消防署に指導仰ぎながら例年通りやっていくのか。

(危機管理課長)

はい。

(消防生活安全係長)

支部の操法大会について補足となるが、支部の操法大会に出場する消防団は館山市と鴨川市消防団の 2 つとなる。南房総市は、今後操法大会には出場しないこととしており、鋸南町も同様となる。

(佐藤委員)

千葉県の大会は毎年行うのか。

(消防生活安全係長)

千葉県消防操法大会については、現在は全国大会の選考会ということで開催されることとなっている。全国大会はポンプ車操法の部の年、可搬ポンプの部の年となっており、その種目の全国大会がある年については、選考会が実施される予定となっている。

女性の消防操法大会が開催される年には、選考会は開催されない。

(佐藤委員)

鴨川市としては、全国大会につながる大会がある場合は、支部の大会に出場するのか。

(消防生活安全係長)

消防団本部と消防団において協議しながら、その都度決定していくかたちとなる。

(栗原委員)

鴨川市としては、操法大会のようなものは全くやらないということか。

(事務局：嶋津)

国の検討会の議論を受けて、千葉県の方でも操法大会から選考会に移行された。

市の大会としては、今後実施しないことで考えている。

(栗原委員)

なぜ伺ったかという、これまでは新入団が入ってきた時に操法大会を行い、ホースの延ばし方とか水の出し方をそこで勉強した。

そのようなことが全く無くなったら、新入団が入団しても対応できないのではないかと懸念があったので、発言した。

(危機管理課課長補佐)

各支団において中継訓練を独自に行っているの、十分補えると思っている。

(消防生活安全係長)

今年度から基礎訓練を支団で行っていただいている。第2支団については、若手の団員を対象に操法訓練を数回実施している。

(栗原委員)

鴨川市全体でなく、支団ごとに対応しているということで理解した。

(議長)

他に、委員から質疑意見等の有無を諮るに、質疑意見等無しのため、本日の議件はすべて終了とし、議長の職を解く旨、宣する。

(進行：危機管理課課長補佐)

以上で、令和7年度第1回消防委員会を閉会とする。

5 閉 会 (午後2時05分)

(以上)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第3条第3項の規定により会議録の内容について確認します。

令和8年3月23日

根本 弘